

歴史と文化 (History and Culture)

20 世紀後半の中国 (20th Century China II)

荒武 達朗・准教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2 単位 後期 月 1・2

(平成 19 年度以前の授業科目: 『歴史と文化』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『外国史』)

【授業の目的】 本授業では 20 世紀後半の中国史, 日中戦争の終結, 内戦, 中華人民共和国成立以降の歴史を講義する。歴史事項の暗記につとめるのではなく, 個々の歴史事項が歴史的文脈の中でどういう意味を持っているのかを「考察」していきたい。

【授業の概要】 下の授業の計画を見よ。

【到達目標】 我々にとっても極めて重要な中国近現代史のアウトラインを理解する。

【授業の計画】

1. 以下の項目の順番に沿って授業を進める。
2. 1945 年 日本との戦いの終わり
3. 中国共産党と中国国民党の内戦
4. 1949 年 中華人民共和国成立と初期の方針
5. 1950-53 年 朝鮮戦争と中国
6. 1950 年代後半 農業集団化と大躍進の失敗
7. 1960 年代前半 調整期の経済: 動乱の予感 毛沢東と劉少奇
8. 1966-76 年 文化大革命期: 毛沢東の権力闘争
9. 1966-76 年 文化大革命期: 新たな時代の胎動
10. 1970 年代前半 国際社会への復帰
11. 1978 年 ~ 改革開放時期の政治と社会
12. 21 世紀初頭の中国
13. (一回の授業で語り尽くせぬ場合には, 次の回へと順延していく。)
14. (テスト)
15. (総括授業)

【教科書】 教科書はプリントを準備する。参考書などは追って指示する。

【成績評価の方法】 小テスト (40 点), 期末試験・レポート (60 点)

【再試験の有無】 無

【受講者へのメッセージ】 受講態度は授業を受ける前提である。授業開始直後などに出席をとる。睡眠や内職は認めない。携帯電話の使用はもつてのほかであり, これらの行為は叱責の対象である。漫然と受講することはけして出来ないが, ただし本当に中国の歴史について学ぼうとする者に対して有意義な内容を提示

できるものと自負している。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221048>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 荒武 (2312, 088-656-7148, aratake@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 内容を変更する場合もある。その場合は掲示にて通知する。